

プレスリリース

2019年2月13日

国境なき医師団 (MSF)

### コンゴ民主共和国：エボラ治療薬の効果を測る臨床試験に参加

国境なき医師団 (MSF) は、エボラ出血熱が流行しているコンゴ民主共和国 (以下、コンゴ) の北キブ州で、エボラ治療に効果が期待されている 4 つの治療候補薬を対象にしたランダム化比較試験 (RCT) に参加する。臨床試験はコンゴ保健省と連携したうえで、現在、流行の中心地となっているカトゥワとブテンボにある MSF のエボラ治療センターで始まる。

#### 最も効果の高い治療薬を特定する

RCT は研究対象となる人を無作為に 2 つの集団に分けて比べる試験手法。今回の臨床試験の目的は、対象となる 4 つの治療候補薬、レムデシビル、mAb114、REGN-EB3、ジーマップのうちどれが最も高い効果を示すか特定することだ。

コンゴ保健省は、2018 年 8 月 1 日にエボラ流行宣言を出し、同年 11 月には北キブ州内にあるエボラ治療センターで候補薬の臨床試験を開始した。この 4 つの治療候補薬はそれ以来、「新しい未承認治療の実験的使用 (MEURI) 」に則って患者に勧められてきた。一連の臨床試験で得られる科学的データによって、治療候補薬の有効性に結論を出せると期待されている。

今回の臨床試験は世界保健機関 (WHO) が召集した運営委員会の監督下に置かれ、コンゴの国立医生物学研究所 (INRB) と米国国立衛生研究所ほか、コンゴ国内または国際的な団体や機関と連携して行われる。ブテンボでは 2 月 7 日に開始、カトゥワでも近日中に開始を予定している。

ブテンボにある MSF のエボラ治療センターは 96 人まで患者の受け入れが可能で、2019 年 1 月月に開院したカトゥワの治療センターは 62 床を備えている。現在までに、MSF はこの 2 つのセンターで 2100 人以上の患者を受け入れた。このうち 250 人が確定例と診断され、そのうち 110 人は既に回復している。

以上

#### 本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141 FAX：03-5286-6124 E-mail: [press@tokyo.msf.org](mailto:press@tokyo.msf.org)

メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ\_Press